

組み立て簡易マニュアル (販売代理店員向け)

StrengthErgo.5

50N-EY400084*
2015年11月作成

●ストレングスエルゴ5を組み立てるため、はじめにお読みください●

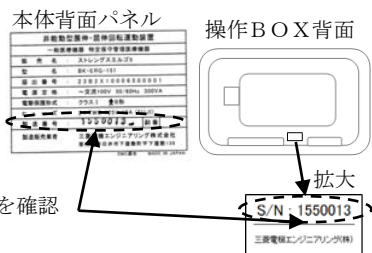
本書は、ストレングスエルゴ5の組み立て方法をまとめた販売代理店向けの資料です。ストレングスエルゴ5の基本操作等は、「ストレングスエルゴ5取扱説明書」を参照願います。

1. 付属品一覧

- (1) 操作BOX
- (2) 緊急停止スイッチ
- (3) イヤーセンサー
- (4) 結束バンド(黒) 4本
- (5) 結束バンド(白) 10本
- (6) マウントベース
- (7) スパナー(呼び17)
- (8) 六角レンチ
- (9) アース線取り付け用ネジ(M3×6) 2本(予備:1本) ※雲台固定用のネジを締める
- (10) リチウム電池(操作BOX内蔵)
- (11) POLAR 心拍センサー(オプション)
- (12) トレー(オプション)
- (13) 取扱説明書(別紙)
- (14) 添付文書(別紙)
- (15) 保証書(別紙)
- (16) 組立簡易マニュアル(本書)
- (17) バッテリー交換手順(別紙)

●組み立てる前に確認●

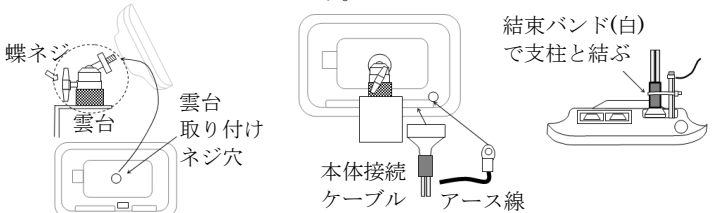
取り付ける操作BOXに貼り付けてある製造番号が、本体の背面パネルにある定格銘板の製造番号と一致していることを確認してください。



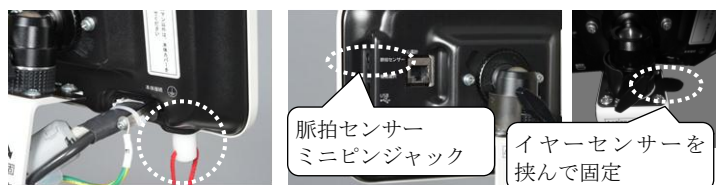
製造番号の一致を確認

●操作BOXの取り付けかた●

- ① 本体の雲台(下図参照)に、操作BOXを固定します。背面の雲台取り付け用ネジ穴に雲台のネジを合わせ、操作BOX側を回しながら、雲台に操作BOXを固定します。
- ② 操作BOXにアース線並びに本体接続ケーブルを取り付けます。本体接続ケーブルは専用のコネクタに、アース線はアース用六角支柱にネジ止めします。
- ③ 本体接続ケーブルとアース用六角支柱を付属の結束バンド(白)で結びます。結ぶ強さは、結束バンド(白)にたるみがない程度にします。



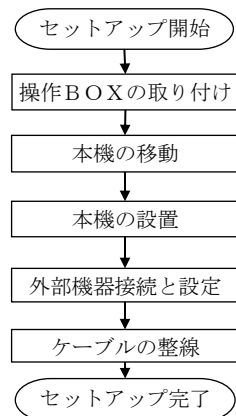
- ④ 緊急停止スイッチを取り付けます。操作BOX下部の「緊急停止」表示のある箇所に、下から取り付けてください。
- ⑤ 操作BOX背面にある、「脈拍センサー」と記載のあるミニピンジャックにイヤーセンサーを差し込みます。イヤーセンサーは、ぶら下げるとひっかかり危険なので、固定します。(右側写真参照)



2. セットアップ

本機のセットアップ手順について説明します。

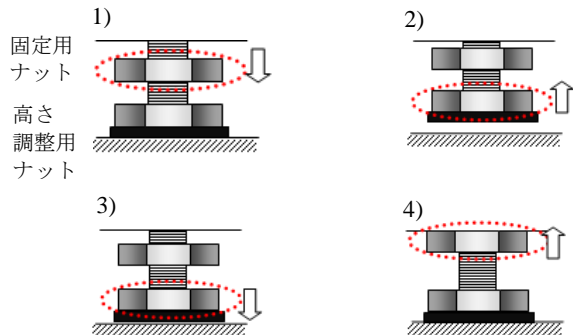
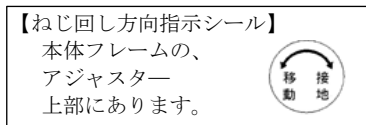
- 1) 操作BOXの取り付け(●操作BOXの取り付けかた●参照)
操作BOXを本機に取り付けます。
- 2) 本機の移動 (2.1章参照)
アップライトモデルとリカンベントモデルでは移動方法が異なりますので、注意してください。
段差などがあるときに、アジャスターが当たり破損する可能性があるため、アジャスターと床との隙間を最大になるように、アジャスターの固定を弛めます。
- 3) 本機の設置 (2.2章参照)
本機を設置するときは、付属のスパナー(呼び17)を使って、すべてのアジャスターを使用して、本機を固定してください。アップライトモデルとリカンベントモデルでは、アジャスターの個数、位置が異なります。
- 4) 外部機器接続と設定
詳細は、「ストレングスエルゴ5 取扱説明書」の「1.6 外部機器接続と設定」を参照願います。
- 5) ケーブルの整線 (3章参照)
本機とケーブルで接続している場合、ペダルや人が移動する箇所にケーブルがあると、ひっかかり危険です。そのため、ケーブルが邪魔にならないように、ケーブルを整理します。



●アジャスターの調整方法●

- アジャスターは、アップライトモデルで前方向に2か所、リカンベントモデルで全5か所存在します。移動の際は、下記手順に従いアジャスターを調整し、固定してください。調整には付属のスパナー(呼び17)を使用します。
- 1) 固定用ナットを「接地」方向に回して弛めます。
 - 2) 高さ調整用ナットを「移動」方向に回し、アジャスターを上げます。
 - 3) 移動後、高さ調整用ナットを「接地」方向に回し、アジャスターを接地させます。
 - 4) 固定用ナットを「移動」方向に回して締めてください。

固定用ナット・高さ調節用ナット共に、下図の「ねじ回し方向指示シール」の「接地」方向で下に、「移動」方向で上に移動します。



2.1. 本機の移動

ストレングスエルゴ5の移動方法について説明します。平坦な床面と段差がある場合について説明します。

2.1.1. 平坦な床面の移動

平坦な床で本機を移動させる場合は、アジャスターの固定を弛め、本機のキャスターを利用して移動させます。

- 1) 電源コンセントから電源コードが抜いてあることを確認します。
- 2) 外部機器が接続されている場合は、全ての接続コードを外します。
- 3) トレー(オプション)の上には何も載せないでください。
- 4) 本機に人が乗っていないことを確認します。
- 5) アジャスターの固定を弛め、床との隙間を最大に広げます。
- 6) 移動の際は、アップライトモデルはハンドルをしっかり握り、リカンベントモデルは背もたれをしっかり掴んで移動させてください。
- 7) 目的の位置に移動したら、アジャスターを固定します。

⚠ 注意

人を乗せた状態で移動させないでください。転落するなど、けがに繋がる事故の恐れがあります。

アップライトモデルのハンドル、リカンベントモデルの背もたれ以外の、可動部分や強度の弱い部分(操作BOX、ペダル、カバー等)を持って移動しないでください。破損やけがの原因になります。

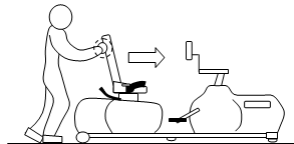
①アップライトモデル

ハンドルを握り、前方に押します。



②リカンベントモデル

背もたれをしっかり掴んで、前方に押します。



2.2. 本機の設置

⚠ 注意

取扱説明書の「安全上の注意」の章を参照ください。

⚠ 注意

本機を固定しないでご使用になりますと、運動中に本機が移動して、けがの原因になります。

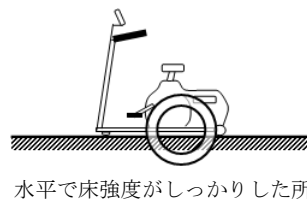
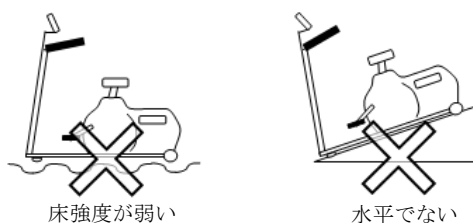
本機はアップライトモデルで約95kg、リカンベントモデルで約135kgの重量があります。床強度のしっかりしたところに設置してください。

床面が水平な場所に設置してください。

電源コードは、電源コンセントの電圧、許容電流、接地の有無を確認して接続してください。

電源コードが利用者の足を掛けないよう、配線経路には十分注意してください。

すべてのアジャスター(アップライトモデル:2個、リカンベントモデル:5個)を使用して本機を固定して使用してください。



2.1.2. 移動経路に段差がある場合

本機のキャスターでは、段差を乗り越えることは困難です。長い距離を移動させる時など、移動経路に段差が存在する場合は、本機を台車に乗せて移動させてください。

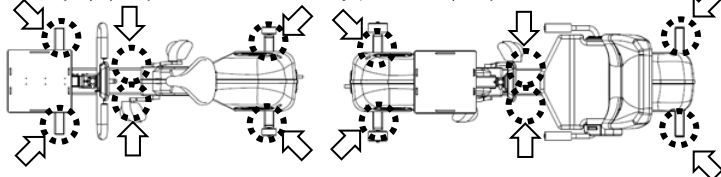
アップライトモデルの重量は約95kg、リカンベントモデルの重量は約135kgあります。台車に本機を積み降ろしする際は、必ず複数人で持ち上げてください。(目安 アップライトモデル:4人以上、リカンベントモデル:6人以上) 床や台車に本機を降ろす際、手を挟まないように十分ご注意ください。

本機を持ち上げる際には、下図に示す金属フレーム部分をしっかり持つようしてください。ペダルやハンドル、操作BOXなどの可動部分や強度の弱い箇所を持つと、機器の破損や怪我につながる危険があります。



アップライトモデル

リカンベントモデル



⚠ 注意

台車で本機を移動させる際は、移動中の振動や傾斜等で台車から本機が落下しないよう、固定を十分に行ってください。

3. ケーブルの整線

本機のケーブル配線が乱れている場合、はみ出したケーブルがペダルや周囲の歩行者に引っかかり、断線や故障、ケガに繋がる恐れがあります。そのため、ケーブルが邪魔にならないように、ケーブルを付属の結束バンド(白・黒)やマウントベースにて固定します。

(1) 結束バンドの種類

付属の結束バンドは、マウントベースにケーブルを固定する結束バンド(白)と、面ファスナーで何度も使用することができる結束バンド(黒)の2種類があります。



結束バンド(白)

本体に貼り付けたマウントベースと組み合わせてケーブルを固定します。マウントベースは、取付面が水平であれば本体の任意の場所に取り付け可能です。

ただし、粘着テープによる固定のため、一度取り付けた後の位置変更はできません。



結束バンド(黒)

面ファスナータイプの結束バンドになります。使用可能な場所は、「(2)結束バンドの取り付け」を参照ください。

(2) 結束バンド(白・黒)の取り付け

1) 本体接続ケーブルの固定

操作BOXに接続した本体接続ケーブルを結束バンド(黒)で固定します。アップライトモデルとリカンベントモデルでは、固定方法が異なるため、注意してください。写真を参考に、結束バンド(黒)でケーブルを固定します。このとき、ゆるめに取り付けます。

ケーブルを固定したのち、雲台の蝶ネジを弛め、操作BOXを180度回転させて、ケーブルが引っ張られないことを確認します。

2) 通信ケーブルの固定

アップライトモデルとリカンベントモデルでは、固定場所・固定方法が異なるため、各モデルごとに説明します。

付属品のマウントベースは、カバーの平らなところに貼りつけることで、強度を保つことができます。マウントベースの裏面の紙をはがして、粘着テープをカバーの平らな箇所に取り付け、結束バンド(白)を使用して任意の箇所にケーブルを固定できます。

結束バンド(白)は、マウントベースに通したのち、ケーブルを固定します。固定したあと、不要な部分はハサミで切ります。

すべてのマウントベース、結束バンド(白・黒)を、必ずしも使用する必要はなく、取り付け位置や個数は状況に合わせて使い分けてください。

①アップライトモデル

固定具は3箇所あり、結束バンド(黒)を取り付けてケーブルを固定します。

結束バンド(黒)は、結束バンド(黒)を溝に通したあと、丸めて表面と裏面を合わせると止めることができます。

結束バンド(黒)は長いものを付属しているため、ケーブルを固定すると、余ることがあります。ハサミで切るか、邪魔にならないように固定しておきます。

②リカンベントモデル

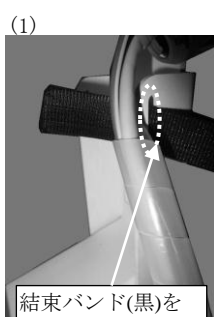
固定具はトレー(オプション)の下部に1箇所あります。マウントベースを使用して、カバー上部にケーブルを固定します。

●本体接続ケーブルの固定●

①アップライトモデル



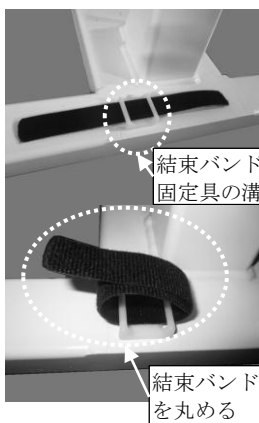
②リカンベントモデル



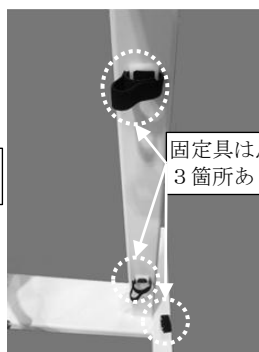
●通信ケーブルの固定●

①アップライトモデル

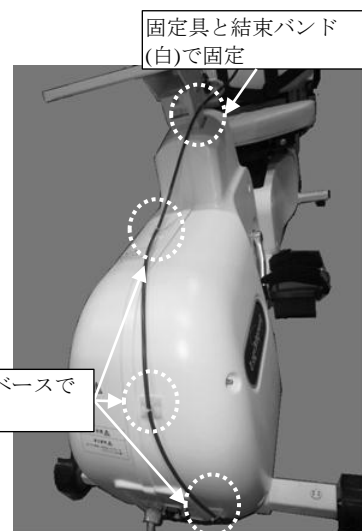
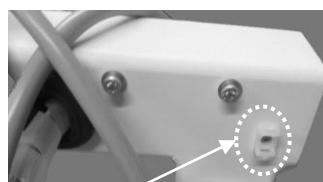
(1) 固定具への取り付け



(2) 固定具の場所



②リカンベントモデル



4. 時刻確認・設定方法

本機に設定された時刻にズレが生じているとき、ズレを確認し、時刻を設定します。設定された現在の時刻は、本体情報画面にて確認・設定します。

- 1) タイトル画面左上の点線エリア内を長押しすると、パスワード入力画面が現れます。
- 2) テンキーからパスワードを入力します。パスワードの入力を完了したら改行ボタンをタッチします。
パスワードは「1 1 1 1」になります。変更は出来ません。
- 3) 入力したパスワードに間違いがあると、「パスワードが違います」とメッセージが表示されます。正しいパスワードを入力するか、「戻る」をタッチしてタイトル画面に戻ります。
- 4) 入力したパスワードが正しい場合は、メニュー画面に移行します。
- 5) メニュー画面のメンテナンスの下にある「本体情報」をタッチします。
- 6) 本体情報画面が表示されます。日時は「Date」欄に表示されますので、ズレが発生しているかを確認します。
ズレが生じていないときは、「Back」をタッチして終了します。
ズレが生じているときは、時刻を再設定するため、「TimeSet」をタッチします。
- 7) 時刻設定画面が表示されます。表示される日時の初期値は、設定されている日時が表示されます。

矢印ボタンを操作して目的の日時を設定後、「Set」ボタンをタッチします。
設定中は「Set」ボタンが押下中状態 **Set** となり、時刻設定が完了すると再び「Set」ボタンがタッチ可能となります。
このとき秒は、0秒で設定されます。

設定が完了しましたら、「Back」ボタンをタッチします。
- 8) 日時が正しく設定できたことを確認します。
本体情報画面が表示されますので、「Date」欄を確認し、設定した日時が表示されていることを確認します。

▲ 注意

存在しない日時の設定(例えば2月31日など)をした場合、設定が反映されずに元の日時が維持されます。
このとき、エラー表示はされませんので、本体情報画面にて、正しく設定されていることを確認してください。

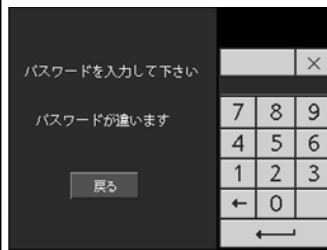
5. 必要な工具

- a. プラスドライバー 1個
- b. ハサミ 1個

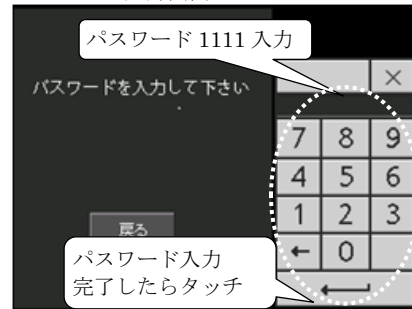
タイトル画面



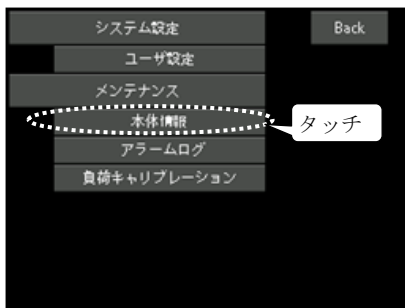
パスワード間違ったとき



パスワード入力画面



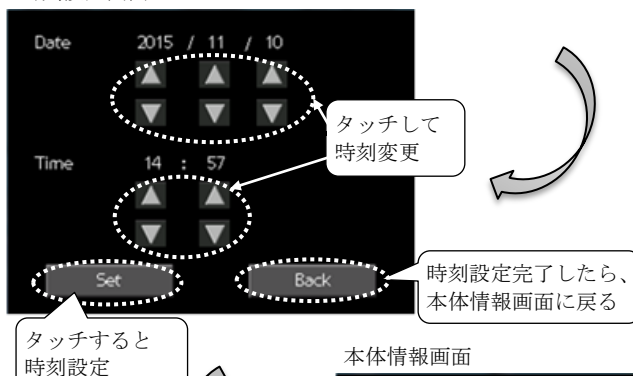
メニュー画面



本体情報画面



時刻設定画面



本体情報画面

